

株主通信 2016年3月期 第1四半期決算ご報告 (2015年4月1日~2015年6月30日)

株式会社プロネクサス 🚟

株主名簿管理人:三菱UFJ信託銀行株式会社

連 絡 先:〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 0120-232-711 (通話料無料)

●本報告書は2015年3月末時点での株主の皆様にお送りしています。

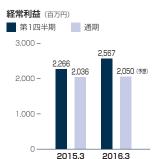
まずこちらを

開く 濡れている場合は乾かしてからはがしてください。

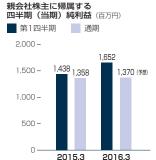
当第1四半期の連結業績

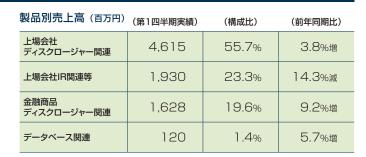
	(第1四半期実績)	(前年同期比)
売 上 高	8,294百万円	0.1%減
営 業 利 益	2,563百万円	13.6% в
営 業 利 益 率	30.9%	3.7pt增
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,652百万円	14.9%增
1株当たり四半期純利益	55 _P 18 ₃	10円54銭増











資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	17.325	流動負債	5,692
灬 	17,320	固定負債	3,132
固定資産	10.700	負債合計	8,824
	13,783	純資産合計	22,283
資産合計	31,108	負債純資産合計	31,108





第1四半期の季節性について

当社グループの売上の約70%を占める上場会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が3月決算会社であるため、決算および株主総会関連製品の受注が集中する第1四半期の売上が最も多くなっています。これにより、当第1四半期の各利益科目の実績は通期業績予想を上回っています。

●当社は、保有する不動産の譲渡により特別利益約9億円、特別損失約6億円を第2四半期に計上する見込みであることを7月17日に開示いたしました。 詳細については7月17日の適時開示資料をご覧下さい。

会社概要 (2015年6月30日現在)

 商
 号
 株式会社プロネクサス

 創
 業
 1930年12月15日

 設
 立
 1947年5月1日

 資本
 金
 30億5,865万500円

東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング

主な事業内容 ディスクロージャー・IR実務に係る総合的支援サービス

従業員数 955名(連結) 652名(単体)

主な事業所および工場

大阪支店 札幌営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 戸田工場

グループ会社(連結子会社)

株式会社アスプコミュニケーションズ 日本財務翻訳株式会社 台湾普羅納克廈斯股份有限公司(プロネクサス台湾)(他、持分法適用関連会社5社)

株式インフォメーション

■株式に関するお手続きについて

1.証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容		お問い合わせ先	
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	11. 3. 4- 800	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿 管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ		™ 0120-232-711	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。		

2.特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記へお問い合わせください。 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先 0120-232-711

インターネットアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/

■株主優待・IR/財務情報に関するお問い合わせはこちらへ

株式会社プロネクサス 社長室 03-5777-3145

メールアドレス asp@pronexus.co.jp

注記事項 ※本報告書は、2015年7月31日発表の2016年3月期第1四半期決算短信の 数値、文章を基に作成しています。その後に公表される可能性がある訂正 情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームペー ジにてご確認ください。

株主の皆様へ



便

既存ビジネスの深耕、 新規ビジネスの拡大を、 M&Aも活用して スピーディーに展開します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申 し上げます。

当第1四半期(4-6月の四半期連結累計期間)は、証券市場の活況や企業業績の回復に加えて、コーポレートガバナンス・コード制定を受けてIRを強化する機運が高まり、関連製品の受注が増加しました。一方、当第1四半期より、a2mediaグループを連結子会社から持分法適用関連会社に変更いたしました。これにより、従来同社グループの外部売上高が含まれていた上場会社IR関連等の売上高が減少いたしました。これらの結果、当第1四半期の連結売上高は、8,294百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

利益面では、金融庁の開示書類作成システム「EDINET」のバージョンアップに対応するコストのうち、初期コスト負担がなくなったことと、a2med iaグループ関連コストが除外されたことを主因として売上原価率が5.5pt 改善しました。これらの売上原価の減少が営業体制強化等による販管費の増加を上回り、営業利益は2,563百万円(前年同期比13.6%増)、経常利益は2,567百万円(同13.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,652百万円(同14.9%増)となりました。

当社は、更なる成長を目指すべく、既存ビジネスの深耕と新規ビジネスの拡大を進めてまいります。長年蓄積した経営資源を有効活用し、M&Aも活用しながら、これをスピーディーに展開してまいります。

株主の皆様には今度とも変わらぬご支援·ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2015年8月 代表取締役社長 上野 剛史

製品別の概況

<上場会社ディスクロージャー関連>

新EDINET対応に伴う増収効果が一巡する一方、招集通知のカラー化の 進展、IPO・ファイナンス件数が高水準で推移し、売上高は4,615百万円(前 年同期比3.8%増)となりました。

<上場会社IR関連等>

英文IRサービスやIRサイト構築等のWebサービス、株主総会ビジュアル化サービス等が増加しましたが、株主通信の減収に加えて、a2mediaグループの外部売上高が除外されたことにより、売上高は1,930百万円(前年同期比14.3%減)となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

制度改正による投資信託運用報告書の売上減少影響があるものの、目論 見書や各種販売用資料、Webサービス等の受注増加がこれをカバーした結 果、売上高は1.628百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

<データベース関連>

新機能追加等のバージョンアップや利用促進を図る支援サービス等を継続し、既存顧客の契約更新が好調に推移した結果、売上高は120百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

配当方針・株主優待

1. 配当方針

連結配当性向「30%以上」を基準として、安定配当をベースに業績、経営環境等を総合的に加味した配当を継続してまいります。

実績·予想	年間配当金 (円 銭)			配当性向	純資産配当率
	第2四半期末	期末	合計	(%)	(%)
2015年3月期	9.00	9.00	18.00	41.2	2.6
2016年3月期 (予想)	9.00	9.00	18.00	39.3	

2. 自己株式について

- ■2014年5月~2014年11月の間で約250万株を取得し、2015年5月に288万株消却。
- ■2015年6月末時点の発行済株式総数は33,444千株、うち3,500千株が自己株式となっております。

3. 株主優待

毎年3月末日現在の株主様を対象に、保有年数と所有株式数に応じてQUOカードを贈呈。

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	500円	1,000円	1,500円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円

